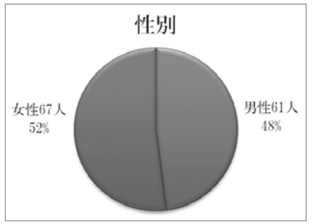
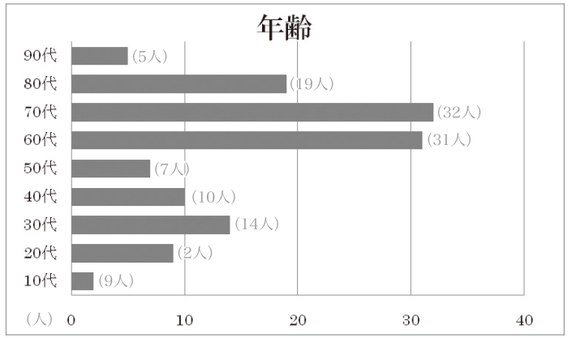
病院食アンケート調査を行いました。

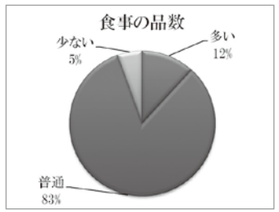
「当院の食事について、患者様からのご意見を伺うことにより現状を把握し、今後の食事提供に役立てる。」ことを目的として、2013年9月から10月にかけ、入院患者様に病院食についてのアンケートを実施しました。（配布156枚、回収128枚、回収率82%）

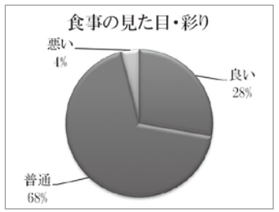
食事の品数･彩り･盛付け･食事バランスでは多くの項目で普通との回答をいただきました。味付けに関しては「ちょうど良い」との回答が多い評価となりました。また、3割近くの方が「薄い」と回答されており、薄い味付けの中でも素材の味を活かしたり、調理の工夫をしたりと更に考えていきたいと思います。

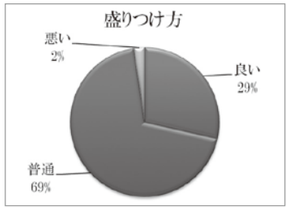
食事の温度については、8割近くの方々に満足であると評価をいただきました。今後も適温適冷でご提供できるよう努力していきたいと思います。

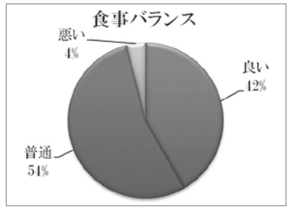


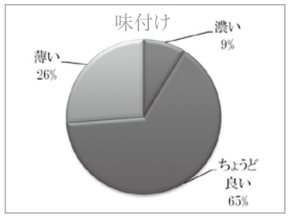


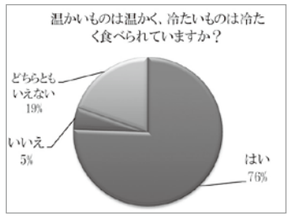




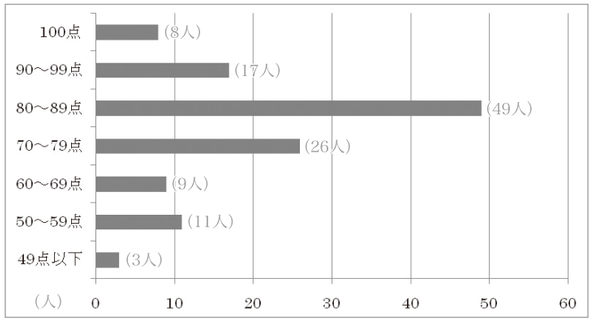








当院の食事の満足度は100点満点中、何点ですか？　※未回答者あり



食事の満足度については、8割以上の方々に70点以上の評価をいただき、多くの患者様にご満足いただけていると感じます。

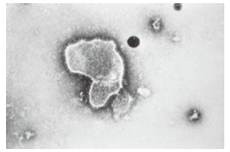
また、取り入れて欲しい料理について自由に回答をしていただきましたが、洋食（シチュー、オムレツ等）や麺類（そば、うどん等）、など幅広いご意見をいただきましたので、ご希望に添う料理を提供できるよう検討していきたいと思います。

アンケートにご協力いただきました皆様、貴重なご意見をいただきありがとうございました。患者様の病状に応じた栄養量を考慮した上で、献立内容や調理方法を見直し、“まごころ”という隠し味も忘れずに今後も多くの患者様にご満足いただける食事を提供できるよう努力していきたいと思います。

（文：栄養管理課 中村磨浪）

Column・・・・・

「RSウイルス感染症について」


RSウイルス

皆さん、RSウイルス感染症をご存じでしょうか?耳にしている方もいらっしゃると思いますが、今回RSウイルス感染症について説明をします。

RSというのは「呼吸器の合胞体」(Respiratory syncytial)という英単語の略語になります。呼吸器の細胞が腫れて1つになるため名付けられました。喉や気管支などに感染します。

Q:どのような人が感染しますか?

A:乳幼児が主に感染する代表的な感染症ですが、年齢を問わず感染します。

Q:感染経路はどこからですか?

A:咳やくしゃみによる飛沫感染や、手で触れた物などによる接触感染が主な経路です。

Q:潜伏期間はどの位ですか?

A:感染してから発症までの潜伏期間は2～8日です。典型的には4～6日です。

Q:感染期間はどの位ですか?

A:ウイルスが体内から消失するまでは7日～21日と長くそのため感染が広がりやすいとされています。

Q:感染するとどのような症状が出ますか?

A:発熱･水のような鼻汁･鼻詰まり･ひどい咳など。学童や成人の場合は風邪程度の軽症で治まる事が多いです。インフルエンザのように必ずしも急激な高熱が出るわけではないので見逃されがちですが、乳幼児や老人は重篤になると気管支炎や肺炎を引き起こしたりする事があるので注意が必要です。

Q:どのような治療法や予防法がありますか?

A:特効薬はありませんので対症療法が必要です。

予防としては

①こまめに手洗いを実施する。

②うがいやマスクの着用を心掛ける。

③子供が触れる物などは消毒を実施する。

④人の出入りの多い場所を避け、乳幼児と兄姉（学童、幼稚園児）との接触を避ける。

④は大きな子供や大人はRSウイルスに感染していても自覚症状が現れない事があるためです。皆さん、RSウイルスは感染しないようにする事が1番大事です。予防を心掛け、これからの季節を過ごしていきましょう。

（文:検査課　吉村 香名子）

仕事の合間にストレッチでリフレッシュ!

座り仕事で足のむくみや腰痛になりがち。仕事の合間に簡単にできるストレッチで循環をよくし、体調不良を防止しましょう。前回に続く第2回目です。

Vol.2【下半身のストレッチ】

●ふくらはぎのストレッチ

①前に体重をかけるようにし、後ろ足を伸ばす。

②左右交互に行う。

●太もも前面のストレッチ

①手で足を後ろ方向に持ち上げる。

②左右交互に行う。

●腰のストレッチ

①足を組み、乗せた足の方向へ上半身をひねる。

②左右交互に行う。

●太もも後面のストレッチ

①両足を前に出す。

②両手をつま先の方へ滑らせるようにして前屈する。

注意事項

❶ゆっくり深呼吸をして、息を止めないこと。

❷痛いところまで無理に行わず、気持ちのいい範囲で行うこと。

❸反動を付けて動かさないこと。

聖隷沼津健康診断センター　健康支援課